

HP Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software

ソフトウェアバージョン: 10.10

Windows® およびLinux® オペレーティングシステム向け

インタフェーストラフィックレポートのオンラ
インヘルプ

ドキュメントリリース日: 2015年11月
ソフトウェアリリース日: 2015年11月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® はAdobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft® および Windows® はMicrosoft Corporationの米国内での登録商標です。

Red Hat® Enterprise Linux® は米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

または、[HPソフトウェアサポート] ページ上部にある [登録] リンクをクリックしてください。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトへのアクセス: <https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは

<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

このPDF版オンラインヘルプについて

本ドキュメントはPDF版のオンラインヘルプです。このPDFは、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で閲覧できるようにするために提供されています。このコンテンツは本来、オンラインヘルプとしてWebブラウザで閲覧することを想定して作成されているため、トピックによっては正しいフォーマットで表示されない場合があります。また、インタラクティブトピックの一部はこのPDF版では提供されません。これらのトピックは、オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

目次

第1章: インタフェーストラフィックレポート	5
カレンダーレポート	6
チャート詳細レポート	6
ヒートチャートレポート	7
管理対象インベントリレポート	8
最も変化したレポート	9
ピーク期間レポート	10
上位Nレポート	10
上位Nチャートレポート	11
上位Nテーブルレポート	11
用語集	13
ドキュメントのフィードバックの送信	14

第1章: インタフェーストラフィックレポート

HP Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software (NNM iSPI Performance for Traffic) は、NNM iSPI Performance for Traffic環境でのネットワークパフォーマンスデータを表示および分析するためのインタフェーストラフィックレポートを提供します。インタフェーストラフィック拡張パックを使用して、NPSデータベースの使用可能な処理前トラフィックデータのレポートを生成することができます。これらのレポートは、リーフコレクターによって収集されたすべてのトラフィックデータサンプルを処理します。このデータは、以下の形式でNPSデータベースに保持されます。

- 1時間ごとに集計されるデータ:データは7日間保持されます
- 1分ごとに集計されるデータ:データは3日間保持されます

これらのレポートは、短い時間間隔や限定的な日数で、トラフィックデータに対する詳細な分析を実行する場合のみに使用してください。

以下のタイプのインタフェーストラフィックレポートを表示できます。

- カレンダー
- チャートの詳細
- ヒートチャート
- 管理対象インベントリ
- 最も変化した
- ピーク期間
- 上位N
- 上位Nチャート
- 上位Nテーブル

インタフェースのトラフィックレポートを表示するための前提条件

インタフェーストラフィックレポートを表示するには、以下の前提条件が満たされている必要があります。

- ご使用の環境にNNM iSPI Performance for Trafficをインストールする前にNNM iSPI Performance for Metricsをインストールします。
- インタフェーストラフィック拡張パックが正常にインストールされていることを確認してください。

インストールが正常であるか確認するには、以下のコマンドをNPSシステム上で実行します。

Windowsの場合

```
%NPSInstallDir%\NNMPerformanceSPI\bin\statusALL.ovpl
```

Linuxの場合

```
\opt\OV\NNMPerformanceSPI\bin\statusALL.ovpl
```

このコマンドで拡張パックのステータスがOKと表示されれば、インストールが正常に行われていることとなります。

インタフェーストラフィックレポートへのアクセス

インタフェーストラフィックレポートにアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. NNMiコンソールにログオンします。
2. メニューバーから[アクション]>[NNM iSPI Performance]>[レポート-レポートメニュー]をクリックします。これにより、Network Performance Serverページが起動します。
3. インタフェーストラフィック (1分) 拡張パックを使用して起動できるレポートのリストを表示するには、ナビゲーションパネルの[レポート]タブの下で[iSPIトラフィック]>[インタフェーストラフィック]>[インタフェーストラフィックのメトリック]をクリックします。

カレンダーレポート

カレンダーレポートでは、従来のカレンダースタイルのレイアウトを使用して2つのメトリックスの毎時の統計情報を複数の日付にまたがる1つの拡張されたグラフとして表示します。このレポートは、24時間より短い時間範囲では機能しません。デフォルトでは、このレポートには当月のデータが表示されます。

このレポートは、次の目的で使用できます。

- 長期間にわたる段階的なトレンドの表示
- 孤立したスパイクの表示
- 異常状態の表示
- 時間パターンの表示
- 2つのメトリックの比較

カレンダーレポートでは以下の値がデフォルトに設定されます。

- インタフェース(フローパケットをレポートするように設定されているインタフェース) = すべて
- 日/時間 = 過去1時間
- Y1軸に表示されるメトリック(プライマリメトリック) = ボリューム - バイト数(入力)(合計)
- Y2軸に表示されるメトリック(セカンダリメトリック) = ボリューム - バイト数(出力)(合計)

デフォルトのビューには、当月のデータが表示されます。NNM iSPI Performance for Trafficがフローコレクターからデータを収集した期間の長さに応じて、過去2か月間のデータと過去31日間のデータを表示するオプションを選択できます。

チャート詳細レポート

チャート詳細レポートは、ネットワークヘルスおよびパフォーマンスのトレンド分析の実行を可能にします。このレポートでは、各時間単位について、選択したメトリックスの比較分析が表示されません。

このレポートは、次の目的で使用できます。

- 複数のネットワークトラフィックに影響を与える要素のネットワークヘルスおよびパフォーマンスのトレンドを1つの時間単位に基づいて分析します。
- ネットワークヘルスおよびパフォーマンスに影響を与える継続的な問題を検出します。

チャート詳細レポートでは以下の値がデフォルトに設定されます。

- フローコレクター = すべて
- Y1軸に表示されるメトリック(プライマリメトリック) = ボリューム - バイト数(入力)(合計)
- Y2軸に表示されるメトリック(セカンダリメトリック) = ボリューム - バイト数(出力)(合計)

このレポートのグラフは、選択した期間中の最大6つのメトリックを追跡したものです。

チャート詳細レポートでは、データを表形式で表示することもできます。表を表示するには、[オプション]をクリックしてから[テーブル]を選択します。チャートの代わりにテーブルが表示されます。チャートと表の両方を表示するには、[オプション]をクリックしてから[チャートおよびテーブル]を選択します。

ヒートチャートレポート

ヒートチャートレポートには、単一のメトリックの1時間ごとまたは1日ごとのパフォーマンスがカラーコード形式で表示されます。このレポートは、24時間より短い時間範囲では機能しません。

レポートの上部にある凡例は、正規化されたパフォーマンス値の範囲と特定の色の対応を示しています。凡例の下にある表は、パフォーマンスメトリックの正規化された値を示します(表の行は時間、列は日を表します)。表の各セルはカラーコードされており、メトリックの特定の値を示しています。

セル上にマウスポインターを移動させることにより、各時間の処理前のデータを表示できます。

ヒートチャートレポートでは以下の値がデフォルトに設定されます。

- インタフェース(フローパケットをレポートするように設定されているインタフェース) = すべて
- 日/時間 = 過去1時間
- Y1軸に表示されるメトリック(プライマリメトリック) = ボリューム - バイト数(入力)(合計)

ヒートチャートレポートのデフォルトのトポロジフィルターは、以下のとおりです。

- インタフェース = すべて
- 期間 = 過去1時間
- 時間 = すべて
- 曜日 = すべて
- メトリック = ボリューム - バイト数(入力)(合計)

時間範囲のオプションは、24時間以内の任意の期間です。

管理対象インベントリレポート

管理対象インベントリレポートは、ネットワークトラフィックの分析に使用できる使用可能なトポロジの属性の一意のインスタンス数を表示します。

使用可能な属性を使用して関心のあるデータに絞り込んで、関心のある領域のみを対象としてレポートを作成できます。属性のリストがテーブル形式でレポートに表示されます。表のカウント列は、各属性のエントリー数を示します。

インタフェースヘルスレポートには以下のトポロジ属性を使用できます。

- インタフェースID
- インタフェース名
- 修飾インタフェース名
- ノード名
- インタフェースODDBID
- ノードODDBID
- インタフェースUUID
- インタフェースエイリアス
- インタフェース物理アドレス
- インタフェースタイプ
- セキュリティグループ名
- セキュリティグループUUID
- インタフェースセキュリティグループ名
- インタフェースセキュリティグループUUID
- ノードUUID
- テナント名
- テナントUUID
- フローのバージョン
- IPプロトコル
- サービスのクラス
- アプリケーション名
- 送信元ポート
- 送信先ポート
- 送信元ホストIPアドレス
- 送信先ホストIPアドレス
- 送信元ホスト名

- 送信先ホスト名
- 送信元Vlan ID
- 送信先Vlan ID
- 送信元Vlan
- 送信先Vlan
- コレクター名
- 送信元サイト名
- 送信先サイト名
- サービスのタイプ
- 送信元AS
- 送信先AS
- 送信元サブネットアドレス
- 送信先サブネットアドレス
- サービスのタイプ - IP優先度
- サービスのタイプ - DSCP

最も変化したレポート

最も変化したレポートでは、2つの異なる (連続する) 期間についてコンポーネントのパフォーマンスを比較し、変化した量でネットワーク要素をランク付けします。ソート順序は「最も変化した」から「最も変化しなかった」です。選択した時間のトポロジフィルターが適用された、ユーザー指定メトリックに関する最も変化したレポートを作成できます。

このレポートには1つの表が含まれ、1つのメトリックのみのデータが表示されます。

テーブルの列は次のとおりです。



- コンポーネント
- 前の期間のパフォーマンス
- 選択した期間のパフォーマンス
- 成長率 (パーセンテージの増加で表示)
- 変化

最も変化したレポートでは以下の値がデフォルトに設定されます。

- 要素ごとのグループ化 = 修飾インタフェース名
- 開始日/時間 = デフォルトの時間範囲およびデータベースのデータによって異なる
- 時間範囲 = 過去1時間
- 時間 = すべて
- 曜日 = すべて

- ランクメトリック = ボリューム - バイト数 (入力) (合計)
- 上位Nのオプション = 上位10

最も変化したレポートを使用することにより、トラフィックフローの変動による影響を受けるネットワークエレメントを識別できます。また、ネットワーク輻輳の根本原因分析も実行できます。

このレポートでは、デフォルトで修飾インタフェース名ごとにデータがグループ化されます。複数のグループ化属性を選択するには、 ([新しいグループ化を追加]) ボタンを使用します。グループ化属性を削除するには、 ([グループ化を削除]) ボタンを使用します。

ピーク期間レポート

ピーク期間のレポートは、ネットワークが選択された時間範囲の中で最も負荷が高い期間を示すメトリックのランク付けします。このレポートのグラフは、選択した期間中の最大6つのプライマリメトリックおよび6つのセカンダリメトリックを追跡します。



上位Nレポート

上位Nレポートは、ネットワークトラフィックに最も影響を与える要素を、選択したメトリックによってランク付けします。

ランク付けして表示する件数を、5、10、25、50、100から選択できます。レポートでは、選択したメトリックの上位Nレポートまたは下位Nレポートを表示できます。

上位Nレポートでは以下の値がデフォルトに設定されます。

- 要素ごとのグループ化 = 修飾インタフェース名
- 開始日/時間 = デフォルトの時間範囲およびデータベースのデータによって異なる
- 時間範囲 = 過去1時間
- 時間 = すべて
- 曜日 = すべて
- メトリック = ボリューム - バイト数 (入力) (合計)、ボリューム-バイト数 (出力) (合計)
- 上位Nのオプション = 上位10

このレポートでは、デフォルトで修飾インタフェース名ごとにデータがグループ化されます。複数のグループ化属性を選択するには、 ([新しいグループ化を追加]) ボタンを使用します。グループ化属性を削除するには、 ([グループ化を削除]) ボタンを使用します。

このレポートでは、選択したメトリックによってネットワーク要素をランク付けします。このレポートでは、データが棒グラフ形式または時系列グラフ形式で表示されます。大規模な環境においては、NPSは上位Nレポートよりも速く上位Nテーブルレポートを生成できます。上位N要素をできるだけ早く確認するには、上位Nレポートではなく上位Nテーブルレポートを使用してください。

時系列チャートの表示

このオプションを選択すると、選択した期間における棒グラフ中のさまざまなエントリーのメトリックの変動が積み重ねチャートグラフとして表示されます。

注: [時系列チャートの表示] オプションは時間がかかるクエリーを実行するため、オプションとして提供されています。



上位Nチャートレポート

上位Nチャートレポートは、ネットワークトラフィックメトリックを上位N「グループ化」メトリックでランク付けし、経過時間に沿った折れ線グラフの形式でデータを表示します (N数の個別の折れ線グラフ)。

ランク付けして表示する件数を、5、10、25、50、100から選択できます。レポートでは、選択したメトリックの上位Nレポートまたは下位Nレポートを表示できます。

上位Nレポートでは以下の値がデフォルトに設定されます。

- 要素ごとのグループ化 = 修飾インタフェース名
- 開始日/時間 = デフォルトの時間範囲およびデータベースのデータによって異なる
- 時間範囲 = 過去1時間
- 時間 = すべて
- 曜日 = すべて
- メトリック = ボリューム - バイト数 (入力) (合計)、ボリューム-バイト数 (出力) (合計)
- 上位Nのオプション = 上位10

このレポートでは、デフォルトで修飾インタフェース名ごとにデータがグループ化されます。複数のグループ化属性を選択するには、 ([新しいグループ化を追加]) ボタンを使用します。グループ化属性を削除するには、 ([グループ化を削除]) ボタンを使用します。

上位Nテーブルレポート



上位Nテーブルレポートは、ネットワークトラフィックメトリックを上位N「グループ化」メトリックでランク付けします。

ランク付けして表示する件数を、5、10、25、50、100から選択できます。レポートでは、選択したメトリックの上位Nレポートまたは下位Nレポートを表示できます。

このレポートでは、選択したメトリックによってネットワーク要素をランク付けします。上位Nレポートとは異なり、このレポートには棒グラフや時系列のグラフは表示されません。大規模な環境においては、NPSは上位Nレポートよりも速く上位Nテーブルレポートを生成できます。上位N要素をできるだけ早く確認するには、上位Nレポートではなく上位Nテーブルレポートを使用してください。

上位Nテーブルレポートでは以下の値がデフォルトに設定されます。

- 要素ごとのグループ化 = 修飾インタフェース名
- 開始日/時間 = デフォルトの時間範囲およびデータベースのデータによって異なる
- 時間範囲 = 過去1時間
- 時間 = すべて
- 曜日 = すべて
- メトリック = ボリューム - バイト数 (入力) (合計)、ボリューム-バイト数 (出力) (合計)
- 上位Nのオプション = 上位10

このレポートでは、デフォルトで修飾インタフェース名ごとにデータがグループ化されます。複数のグループ化属性を選択するには、 ([新しいグループ化を追加]) ボタンを使用します。グループ化属性を削除するには、 ([グループ化を削除]) ボタンを使用します。

用語集

ドキュメントのフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チームまでご連絡](#)ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

インタフェーストラフィックレポートのオンラインヘルプ (Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software 10.10) に関するフィードバック

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信] をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、network-management-doc-feedback@hpe.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。